



上野発 仙台・会津若松行 交直流急行形電車

N 455系 急行「まつしま」「ばんだい」

10-1632 急行「まつしま」7両セット 10-1633 急行「ばんだい」6両セット

往年、上野と東北各地を結んだ455系は、昭和40年(1965)に451系の出力増強形として登場した車両で、抑速発電ブレーキ付の勾配線区向け50Hz専用交直流急行形電車として、東北・奥羽本線を中心に活躍しました。中でも上野～仙台・会津若松間の急行「まつしま」「ばんだい」は半室ビュッフェを備えるサハシ455を含めた7+6両の13両編成で、途中郡山駅で分割・併合して7両が東北本線の「まつしま」、6両が磐越西線「ばんだい」として運用されました。



DETAILS



補助警笛付 角形アンテナ



回転式タイフォン



6列のルーバー